



やらまいか

クラブテーマ：原点回帰

会長／金田 征宏 幹事／度会 尚志 会報委員会／廣田 篤・中村 嘉輝 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第9回 通算1446回 平成28年9月6日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/23 修正出席率
		62名	36名	63.1%	91.2%

ゲスト：米山奨学生 ヒエンさん ビジター：(なし)

★会長あいさつ

金田 征宏 会長



こんにちは。朝晩は涼しくなりましたが、日中はまだまだ暑いので、体調管理には充分に注意をしたいと思います。

台風10号の影響で、岩手県や北海道で大きな被害が出て、尊い命も失われています。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

小野喜明会員が、豊川商工会議所の会頭に内定したという新聞報道がありました。来月の議員総会で承認されるとのことです。

9月は、基本的教育と識字率向上月間とロータリーの友月間となっています。基本的教育と識字率向上月間について少しお話をします。世界には、子ども達が基本的な教育を受けられず、成人が十分に読み書きできていない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、そのほかの諸問題の解決、貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和の構築などの糸口をつかむことが出来ます。基本的教育と識字率向上は、ロータリーの6つの重点分野の一つとなっています。

すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は66%減少します。読み書きのできる母親を持つ子どもは、読み書きできない母親の子と比べて、5歳以上まで生き延びる確率が50%高いです。低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合、1億7,100万人が貧

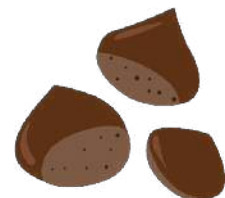
困から抜け出すことが出来る。これは全世界の貧困の12%に相当します。世界的に、教育・識字の分野では進展が見られています。世界で5,800万人の子どもが学校に通っていません。4年間の初等教育を受けた後も読み書きできない子どもが2億5,000万人います。そして7億8,100万人の成人が読み書きできません。世界各地のロータリークラブは、基本的教育の提供と識字率向上をめざす活動に取り組むのがこの月間です。

またロータリーの友月間は、ロータリーの友のようなロータリー地域雑誌と呼ばれている雑誌は、全世界に31誌ありますが、30の地域雑誌とロータリアン誌を総称して「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」と呼ぶことが決まりました。ロータリーの友の月間は、従来のロータリー理解推進月間がなくなり、日本独自にロータリーの友月間が新設されました。ロータリー友に焦点を当てることによって、様々なロータリーの情報について知って頂く機会になればとのことからです。これからもロータリーの友が毎月配布されるので、中身をしっかりと読んで頂き、今後の活動に活かして頂くことをお願いします。

★幹事報告

大島 嗣雄 幹事

ロータリー休日について
豊川RCとの合同例会について
豊川RCとの合同コンペについて



★新入会員スピーチ

熊澤克人会員



皆さん、こんにちは。6月に入会させて頂きました。本日は、貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。

自己紹介をさせていただきます。まず、仕事に関してのお話をさせていただきます。有限会社熊建ハウスという会社をやっています。この会社は、元々は父親の熊沢建設と言う会社があり、その子会社になります。熊建ハウスは、建築全般で、工場の営繕、住宅関係、店舗関係、建築に関することは一通りやらせて頂いております。建築以外には、不動産を少しやっています。会社の構成は、私と妻が経理事務をし、パート、専属の外注で動いており、それ以外は下請けさんが主に動いております。

続いて、趣味についてお話をします。主に野球とゴルフをします。野球は軟式のチームが2チーム、ソフトボール1チームに所属をさせて頂いております。ゴルフは、100~110ぐらいで、オフィシャルのハンディは持っていません。野球とゴルフウェアでダンスの1列が埋まるので、奥さんが迷惑がっているという状態です。家族構成は、妻、長男6歳、次男4歳、三男2歳、四男8ヶ月です。

建築の仕事で私が思っていることは、建築というのは、お客様は地元の方、一緒に働いてくれる人も地元の方になるので、なるべく地元のためになることをライフワークとしてやって行きたいという思いがあります。ライフワークは2つあり、スマイルプロジェクト山本とリレー・フォー・ライフをやっています。

スマイルプロジェクト山本は、山本町の方々が黄色いハンカチを縫製して、1セット400円で販売しています。それをこちらの地域の方に買って頂いて、2枚のうち1枚にメッセージを書いてもらい、それを山本町に送ります。もう1枚は買って頂いた方に持っていて頂きます。3月11日に、被災地とこちらで黄色いハンカチを掲げるというプロジェクトです。元々は東日本大震災の復興支援でやっていたものです。今年で5年になります。山本町は、震災直後に豊川の自衛隊が1番最初に被災地で救助活動をしたところ。被

災状況としては、南三陸など報道されているところと同じぐらいの被害は出ているのですが、あまりメディアには出ていません。豊川の駐屯地が作った縁もあり、継続して活動をしています。

リレー・フォー・ライフとは、日本対がん協会が主催するがんの撲滅を目指しているイベントです。ピンクリボンは乳がんで、こちらは、がん全般です。チャリティーで集めたお金は、新薬の開発、若手医師の育成費用、電話のホットラインの運営費用などに充てられています。今年3回目になります。10月1日2日に開催をします。皆さん会場に足を運んで頂き、チャリティーに協力して頂けると有難いです。宜しくお願いします。この2つを私のライフワークとしてやっています。ありがとうございました。



★新入会員スピーチ

奥村雅一会員



こんにちは。6月21日に入会をさせて頂きました。私は、東京海上日動という保険会社の従業員でございますので、保険に

関する部分で、皆様のお役に立てるように、また、ご家族の皆さんにもお話頂けるようなお話をさせて頂きたいと思っております。

私は、保険会社に25年と少し働いております。一般的に保険は、もう既に入っているとか、もういいよと言われてまして、玄関先で断られることが非常に多く、保険嫌いの方が多いと思っております。保険と言うことを口に出すのが、若い時には躊躇して言い出しにくいことがありました。間に合っているからとよく言われました。逆に保険が好きの方は、私たちの業界から見ると、怖い存在です。保険に入りたいという方は、既に事故がある人だったりして、そういう人に巻き込まれることもありますので、入りたいという方には疑心暗鬼になります。

物を作っていらっしゃる方、サービスを提

供されている方は、物を売ったり、サービスを提供することによって、お客様に新しい価値が提供されて、幸せや未来が見えるようなことをお仕事として日頃からされていると思います。保険と言うのは、目に見えないものでございますので、売った時には、その効能が発揮できません。保険に入っていて良かったと言うのは、一般的には不幸になってから、そのように思うのです。そう簡単に喜んではもらえず日々苦勞しております。

損害保険の中の地震保険が活躍する場面が、ごく最近で増えております。先日の熊本地震は記憶に新しいと思いますし、5年半前には東日本大震災がありました。今、私どもが積極的にご案内している取組みがありますので、それを参考までに皆さんにお話をさせていただきます。

地震保険が生まれて、ちょうど今年で50周年になりました。新潟で50年前に地震があり、それを契機に地震保険が作られました。この地震保険は、一般的には個人の家庭を守る保険です。事業を営んでいらっしゃる会社向けの地震の保障と言うのは、また別にございまして、一般的に言われている地震保険は、個人の家庭を守るものです。

保険の話ではなく、地震があったことにより、様々な問題が実は出てきている事例についてお話をさせていただきます。

東日本大震災のあと、ニュースとか取り上げられることが少なくなってから、小さく新聞に載った事件がありました。幼稚園に通わせていた保護者の方が、避難の方法に幼稚園が悪かったという事で、幼稚園の先生たちを訴えるという事がありました。ある銀行で、避難のために支店長が屋上に逃げろと誘導されたそうです。屋上に逃げたのですが、津波にのまれてしまって10の方が亡くなりました。実は100mほど移動すれば、小高い丘があって、そこに行っていれば助かったかも知れなかったそうです。それが基で企業を訴えるという事があります。ニュースになっていない、地震の後の裁判がけっこうあるようです。

ここで、私どもとしてお話していることは、保険と言うのは何かがあってお支払するのですが、何かがあってからではなく、何かが無いようにする。何かがあっても被害を少なくするための取組み、その計画という、いわゆるBCPというものです。BCPを是非、皆

さん作って頂きたいと思います。

BCPという言葉を目にされたことがあると思います。簡単に言いますと、事業を継続していくための計画です。BCPと騒がれてから時間が経っていますが、大企業であっても、事業を継続するためのBCPが策定されていない会社があります。何故かと言いますと、事業を続けるために、総務、人事、営業など色んな部署が関わるので、誰が旗を上げてBCPを作るかという事がなかなか言えないようです。ボールを投げ合って、結局、横串で出来る人がいないからBCPが策定出来ない、策定しても実際にそれが機能できるどうかテストしたことがないなど、このような事が大企業で多くあります。零細企業もBCPを作るのは大変なので手を付けていない方も多くいます。大企業ですら、そのような状況なので、まだまだ保険には入っているが、BCPはまだという企業が多くあります。私は北海道で勤務していた時に、十勝沖地震を経験しています。保険金をお支払いすることは勿論ですが、事業を続けるという事にけっこう苦勞されている事業者さんを多く目にしております。東日本大震災でも実際にあったことで、従業員の方の家が津波で流れたけど、会社は高台にあったから存続しました。それで社長さんは良かったと胸をなで下ろし仕事を続けたいと考えましたが、従業員が会社に来ない、連絡が取れない。そのようなことから、仕事を続けたくても、続けられずに、苦勞されてお金が回らなくなったということもありました。

私が皆さんにお願いしたいことは、BCPの策定、フルバージョンで細かいものを全て作って下さいということではありません。まずは、従業員様の緊急連絡網の作成。そして何かあった時に、その緊急連絡網で安否確認などするというルール、こういうものが決まっていますでしょうか。弊社では、ポケットに入るサイズの災害対策ポケットメモというものを作っています。ここには万が一何かがあった時に、これを見なさいということになっています。ルールを覚えなくても良いのです。ここには、震度5以上、またはそれに準ずる災害が発生した場合には、まずは安否確認システムを使って、自分が大丈夫かどうか、家族は大丈夫かどうか、出社できるかどうかを報告しなさいと決められています。必ず社員は、ポケット等に入れております。この安

否確認、緊急連絡網、何かがあったらどうする
というファーストアクションの部分だけでも、各企業の皆様でお作りになられたらどうかと思います。

東日本大震災、熊本地震で事業を続けられなくなって苦勞されている企業が多くあります。ごく最近では、台風が変なルートで日本列島を襲っています。今まで台風が来なかった東北や北海道に台風が来た。その関係で大きな被害になっています。いつも台風が来る沖縄や九州、四国では、台風に対する備えはあったのかもしれませんが、まさか来るとは思っていなかった東北や北海道では大きな災害になっています。この日本列島にいる限り、自然災害から免れることはできないと思います。私どものメイン商品である自動車保険があります。交通事故は無くすことが出来ます。さらに自動運転や衝突を回避するブレーキが開発されていますので、交通事故を0に近づけることは出来ます。しかし、自然災害は待つしかありません。絶対に来るものです。特に地震については、何十年に1回というサイクルで必ず大きな地震が来るようです。東海・東南海沖の大地震が連動で来ると言われています。必ず来ます。皆さんがいらっしゃる間に来るかどうかは分かりません。いつ来るかどうか分かりませんが、必ず来るのが地震や自然災害です。火事や交通事故は防げます。そういうものは保険で手当てすれば良いかもしれません。自然災害の部分で、それに対して被害を最小限にしておく、そして会社を営まれている皆様方におかれましては、従業員の安全、家族の安全、そして事業が続けられることをどうしようかという計画を是非作って頂ければと思います。

保険というのは、30年とか長いスパンで統計データを取って、その確率で料率を定めるようになっています。台風や最近の自然災害は、30年とかの長期では図り得られないような非常に大きな災害が発生しています。30年前までの統計と直近5年10年とは、大きく確率が異なって来ています。そのようなことから火災保険、自然災害を補償する掛け金が値上げしています。保険に入って下さいと言う話ではなく、絶対に起こる自然災害、企業に起こる災害に対しての備えの為にBCPを是非策定頂きたいということです。私共では、BCP策定は無料で支援をさせて頂くサービスをしています。有料でフルカバーのサー

ビスもあります。今の保険会社は、保険を売るだけで無く、事故が起こった後、事故を起こす前、事故を起こさないため、そういうサービスを強化しております。ご関心がございましたら、私の方に声を掛けて頂ければと思います。保険に関するお話をさせて頂きましたが、保険に関するところ、事故の対策など、お悩みになられていることがあれば、私に声を掛けて頂ければと思います。

先ほどの熊澤さんのお話にあったリレー・フォー・ライフですが、私も実行委員会に入らせて頂いております。これも保険に近いところです。ガンは、今の日本人は殆どの人になると言われています。ここにいらっしゃる半分の人はガンになります。そのガンで死ぬかどうか別です。ガンと言うのは、不治の病ではなく、早く見つけて早く治療すれば治るようになっています。その知識も含めて学んで頂きたいと思います。是非、ご家族、お知り合いの方を連れてきて頂き、ご参加して頂きたいと思います。またお気持ちの寄付を頂ければ有難く思います。今日は、時間を頂きましてありがとうございました。今後とも宜しくお願ひします。

★第1回ゴルフ同好会コンペ開催

9月10日に第1回ゴルフ同好会コンペが平尾CCで開催されました。

●コンペ成績	GROSS	HDCP	NET
優勝 宇野秀幸	85	24	61
準優勝 加藤哲山	90	20	70
3位 吉田 悟	93	21	72
ニアピン 来山健一、中西弘徳、 大沢茂樹、水野太一			
ドラコン 中西弘徳、来山健一			

★ニコニコボックス

原田雄二会員 誕生日を祝って頂き
林 博宣会員 〃
金田 征宏会員 〃
度会尚志会員 事業所創業を祝って頂き
小田伊佐浩会員 〃
山本博史会員 〃
浅野 晋会員 入会記念日を祝って頂き
中村嘉輝会員 創業・入会を祝って頂き

会報担当：中村嘉輝会員・中西弘徳会員